

今月の聖句
 『鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。』
 箴言 第27章 17節

◎11月の予定

- 1日(水)〜2日(木) 修学旅行(小)
- 2日(木) 秋の遠足(小・中)
- 6日(月)〜7日(火) 内部進学者願書受付
- 7日(火)〜9日(木) 小学校転入体験学習②
中学校転入体験学習②
- 9日(木) 聖書教室
- 10日(金) 授業参観・保護者会
- 11日(土) 関東地区私立小学校教員研修会
- 12日(日) 南部フェスタ(中)
- 16日(木) 収穫感謝礼拝
教務委員会
- 17日(金)〜18日(土) 内部進学者入学考査
- 21日(火)〜24日(金) 期末試験(中)
- 24日(金) ニコニコランチ
- 25日(土) 学校説明会③
- 30日(木) 教職員協議会

◎12月の予定

- 4日(月) むかえようクリスマス



運動会2017 元氣ーやる気!!本気!!!
 今年は雨が続き、台風にも見舞われたため、短縮して学習発表会という形になりましたが、子ども達は、全力で精一杯取り組んでいました。



11月の行事から

☆授業参観・保護者会

学期に一回、子ども達の学校での姿を見て頂く機会です。五月に比べて成長したクラスの様子も感じて頂けると思います。

小学六年生、中学二年生は修学旅行の報告会も兼ねます。お出かけください。

☆収穫感謝礼拝

実りの秋を迎え、今年も自然の恵みを感謝する収穫感謝礼拝を献げます。

「家庭から寄せられた、野菜や果物、お花や稲穂などの献げものが、豊かに祭壇に並べられ、平塚聖マリア教会の宇津山司祭にお話をさせて頂きます。

礼拝の後は、祭壇の献げものを、近くの福祉施設で使って頂いています。

☆ニコニコランチ

小学生、中学生、教職員一同、ステパノに集う仲間が心待ちにしているニコニコランチ。十人ほどの縦割りの班になって、ニコニコしながら給食をいただきます。

おいしいお弁当と一緒に食べ、班対抗でゲームも楽しめます。普段は交わりことの少ない小中学生ですが、お互いに名前も覚えて、次からは校内で会うと、「ニコニコでいっしょだったよね。」と声をかけあう仲良しになっています。

過去は変えられないが

未来は変えられる

学園長 小川 正夫

数週間前になりますが、池上彰が司会進行するNHK放映のTV番組、「世界の王室のプリンセス」を視聴していました。「ミス・ユニヴァース」に選ばれるような美しい女性に関心があったわけではないのですが、そこで選ばれ紹介された「プリンセス」は、どの女性も一般社会の市民でビジネスパーソンやアスリートとして、一つの道に精進していた美しく聡明な実力者で、王室のプリンスに見初められた人達でした。

現在、世界には二十七の国に王室があり、その公務と生活には様々な厳しい約束事があり、民間人が王室に入るには、かなりの制約や難しさがあるようです。

特に印象に残ったのは、オランダ王室の「プリンセス」でした。出身地がアルゼンチンのブエノスアイレスで、ニューヨークで銀行勤めをしていたエリートでした。カトリックの教会の信徒で、父親がアルゼンチンの独裁政権の幹部でもあったことで、人権問題に敏感なオランダの国民には、かなりの抵抗がありました。さらに、オランダはプロテスタントの信徒が多い国でした。加えて、オランダでは、王室の結婚問題は、教会や議会の承認が必要でしたので、国民からは強い抵抗があり、

国王夫妻も最初は強く反対したようです。

伝えられる噂では、国王夫妻は、結婚を考え直すよう説得してみたものの、プリンスが「彼女と結婚できなければ、私は一生結婚しない」と宣言したので、後継ぎがいなくなれば王室が途絶えることになり、困ると考え、結婚を認めたという話もあります。

オランダの市民やマスコミから批判的にみられていたプリンスでしたが、決定的だった言葉は素晴らしく、記者団の質問に、毅然として、しかも、流暢なオランダ語を使い、「過去は変えることはできませんが、努力して未来は変えていくことができます。私は、この国を確り支えていく努力をしていきます。」と答え、国民の信頼を一気に回復したといわれています。国を挙げて祝福された結婚式では、プリンスとして迎えられる花嫁がそっと涙する場がありました。愛する父親は、娘の立場を思いやり結婚式に参列しなかったということのようでした。

私達は、油断すると、他人を上から目線で評価したり、批判したりします。自分の思い通りにならない相手を何とか変えたいと思いがちです。時には、過去の言動に支配され、こだわり易いところがあります。

そこで、名言を紹介します。

*エリック・バーンという心理学者が教科書で、こう教えています。「過去と他人は変えられない、しかし、今、ここから始まる未来と自分は変えられる」

*世界の情報革命に寄与した、ステイブ・ジョブズは「創造的な人生を送ろうとするならば、あまり過去を振り返るのはよくない。自分がしてきたことを、そのまま受け入れ、それを捨て去らなければならぬ」と、いかにも未来を開拓している人の言葉です。

*聖ステパノ学園の建設のお手本になった社会福祉施設を兼ねた教育施設「バーナード」の創立者、トマス・ジョン・バーナードは、「子ども達が、どのような環境に置かれ、どのような状況にあっても、過去に拘らずに、自分で自分の将来をつかみ取る努力ができる様に支援するのが自分たちの務めだ」言っていました。今もその精神は受け継がれていて、子ども達を前から引き上げるといよりは、子ども達の傍らに立ち、励ましながら、そっと背中を押すような心がけています。

学校生活の中で、子ども達は、いろいろな人達との様々な出会いの中でお互いに学び合っている。少しずつ自分を変えながらお互いに成長していきます。子ども達は今のまま大人になるわけではありません。確実に成長していきます。保護者の方々は、ご自分の子どもが良いい友達に恵まれ、健やかに成長していくことを願っています。ご自分のお子さんも友達から同じように、良い友達になって欲しいと期待されているのです。

子ども達は未来に向かって生きる希望の存在なのです。未来に向かって自分自身を創造していく力を育んでいきましょう。

運動会を振り返って

教諭 二椏木 健太

運動会のシーズンも終わり、次は遠足や修学旅行の準備に大忙しで一日があつという間に過ぎてしまいます。今年度の運動会を振り返ってみると「気」という漢字を思い浮かべます。

まず、思いつくのはやはり運動会のテーマである「元氣！やる気！！本気!!!」この三つの「気」です。毎年このテーマで運動会の練習から「元氣 やる気 本気」で取り組んでいます。いつでもどんなことにも子ども達も真剣に取り組む姿は輝いています。特に今年度は小学校高学年の衣装は保護者の方にも手伝って頂いたところもありましたが、家庭科の時間を使って自分たちで衣装を作りました。衣装を染めた後は手まで真っ青、真っ赤に染まっていたのが印象的でした。出来上がった色鮮やかな衣装を実際に見てみると子ども達のやる気もぐつと上がりました。

今年度は予行練習までは夏のような暑さだったにもかかわらず、翌日から秋雨前線の影響を受け、長く雨が続きました。また、その後は超大型の台風21号が上陸し、体育科の学習発表会の準備も順調にいきませんでした。こんなにも雨が降ったことは今まで記憶ありません。運動会が中止になり、子ども達は残念だと言っていました。ただ、学習発表会

を行い、楽しかったという声が多く聞けたことは良かったですが、本当に天気には悩まされました。

今年度の中学校の演技は空手を行いました。組み手や型を披露するためにたくさん時間をかけ、練習してきました。特に型では基本型、基本型二段、そして平安二段と三つの型を覚えることは難しいと感じた生徒もいたと思います。また、応援団の練習では普段は笑顔で優しい先輩達も真剣な面持ちで取り組み、後輩たちに指導し、全員が厳しい練習にも大きな声を出して頑張っていました。子ども達の中には大変だ、辛いなど思っている生徒もいたかもしれませんが、それでも、歯を食いしばって頑張っていました。空手の練習も応援団の練習も、何度も同じことを繰り返し練習していくことは想像するよりも簡単なことではありません。そんな中でこれほど練習に取り組むことができたのは、子ども達に根気強さがあったからだと思います。そして、困難を自分たちの力で乗り越えようと根気強く練習した結果が、今すぐでなくとも子ども達の成長に良い形となって自分自身に返ってくると思います。

最後の「気」は普段の生活も行事の時でも色々な事を気にすることです。例えば、普段の生活で言えば、時間を守る事や挨拶や返事をする事などの基本的な生活習慣はもちろんです。行事では一人ひとりの係や役割も違いますが、それぞれが今、目の前にあるや

るべきことや次に何をやらなければならぬかに自分で気づき、行動することが大切だと思います。大人であれば簡単に思うことも子ども達にとってみれば難しいことですし、日々の積み重ねが大きな行事の時に生きてくると思います。気づかない時には互いに教え合い、助け合いながらみんなで一つのものを作っていくようにすることで、ステパノらしいものができると思います。

ステパノの二期は遠足に修学旅行、むかえようクリスマス、クリスマス祝会と大きな行事がまだまだ続きます。それぞれの行事で一人ひとり違った色を出しながら、それぞれがどんな姿を見せてくれるか楽しみです。



運動会を通して

教諭 黒澤 優

ちょうど去年の今頃、10月の土曜日、所用があり、めったに下りることのない大磯駅で下車しました。「あら、運動会をしているみたい。」だいぶ盛り上がりつつあったようで、グラウンドのフェンス越しに、その様子を少し覗いてみたかったです。少しためられました。その時の私は、まさか来年の聖ステパノ学園の運動会に参加できるとは、夢にも思っておりませんでした。

普段は、何も考えずに通り過ぎてしまうであろう校門も、運動会が行われたおかげで、目に留めることができたのだと思います。そのため、運動会は私にとって、学校と自分を引き合わせてくれたような特別な行事になっており、一緒に参加できることを嬉しく思っていました。しかしながら、今年はいくかの雨が続いて、運動会を執り行うことができませんでした。非常に残念でしたが、「体育科学習発表会」という形でそれぞれの学習の成果を発揮することができました。

私自身が子どもころの運動会、教員になってからの運動会を振り返ってみても、雨で予備日までも、ことごとく中止になってしまったのは初めてです。このことを通して、人間の力では逆らえないものは確かにあることを思い知らされました。聖書の中には、「神の

なさることはすべて時にかなって美しい」ということばがあります。今は、中止になってしまったことに意味を見出すのが難しい人もいるかもしれませんが、学習発表会をできたことに特別な意味があるのだと思います。当日の学習発表会では一人ひとりがとても美しく輝いていました。

私は去年まで、中学校で勤務していたので、小学生と中学生と一緒に言う運動会はどのようなものだろうと楽しみにしていました。ステパノ学園に来て、私が4月当初から思っていたことは、小学生も中学生も学年の垣根を越えて、皆兄弟のように仲が良いということです。運動会の練習、学習発表会の当日の子どもたちの様子を見て、その理由がわかりました。皆が本気になって他学年の応援をしているのです。とくに中学生が小学1年生を「〇ちゃん頑張ってる！」と応援している姿はとても微笑ましかったです。お互いが顔見知りの関係ではなくて、このような共に何かを体験することを通して、お互いの関係を深く良いものに築いているのだと思いました。

また、私が学習発表会で特に心に残った種目は中学生による応援合戦です。中学生は、運動会の1週間前の朝早くから、また放課後も彼らの最大限の声を張り上げて、練習に取り組みました。声を枯らしている生徒もいました。また、皆、キリッとした表情と態度でした。「みんな楽しんでやろうよ！」という趣旨の応援合戦は今までに何度か見たことがあ

りますが、こんなに真剣な表情で取り組んでいる応援合戦は見たことがありませんでした。真剣に取り組むがゆえ、体力的にも精神的にも辛い場面もあったと思いますが、彼らの真剣に取り組む姿は、どこか自信に満ちていて、何時にもまして輝いて見えました。

楽しいことは世の中に満ち溢れています。努力や辛さを通して得た喜びや達成感は、なかなか得られるものではないと思います。体に染みついた一生忘れることのできない宝物になると思います。また、彼らが大人になって、辛いことに直面した時に乗り越える力になっていくと思います。学習発表会での経験を生かして、そのような力を普段の学校生活でも着実に積み上げてほしいと思います。このような先輩たちの姿は、毎年毎年、下級生たちに引き継がれて、聖ステパノ学園の大きな力になっていくのだと思います。

私自身も、彼らがあらゆる場面で力を積み上げられるように努力を重ねていかなければならない、と気が引き締まる思いです。



先日、学校事務研修会に参加してきました。テーマは「接遇マナー」です。講師の先生からは是非皆さんにも広めて下さいとお話がありましたので一部を紹介させていただきます。

まず、一番大切な事は、どんなことにも言える「**基本を忘れない**」ことです。全員で同じ目的の為に、同じ方向を向く。どんな職業でも人と関わる時、自分が幸せになる為に、役に立てるように、貢献できるように。

マナーとは相手に対する思いやり。相手に対して形にして届けるもの。そしてコミュニケーションとは、双方の想いを理解して分かち合うことです。

改めて再認識すると、また考え深い内容で、難しく思えます。

次は「**印象**」についての話です。初めてお会いした相手に対して、第一印象の決定要因ですが、**55%**が「**視覚**」からの印象です。具体的には身だしなみ、表情、立ち居振る舞い。**38%**が「**耳、聴覚**」の印象で話し方や聞き方。そして**7%**が言葉遣いや、話の内容でした。

一瞬の第一印象で、相手に対して印象が変わってしまいます。一度限りの短時間で決定されて、やり直しも出来ません。

さあ、どうしましょう？

ドアの向こうに相手がいる時には、「**ドアをノックする音**」が**第一印象**になります。受験等で面接室に入室する場面を想像してみてください。もし、強く握りしめたこぶしで勢いよく「**トントーン**」と叩いたら、どんな印象ですか？すごい人が来たのかな？怒っているのかな？ちよつと怖い印象だと思いませんか。軽やかに「**トントーン**」とノックしたらどうでしょう？すがすがしく良い印象に感じますよね。快く迎え入れたくなります。まさに、「**ノックの音**」が**第一印象**です。

直接相手にお会いした時には、「挨拶」「表情」が第一印象です。挨拶は、人間関係の始まりであり、人間関係の潤滑油になるものです。挨拶によって、その個人も学校もイメージが決定してしまいます。是非次の「**あいさつ**」を実践してみてください。

★挨拶の極意とは・・・

あ・・・相手の目を見て

い・・・いつも笑顔で

さ・・・先に自分から

つ・・・つなげる言葉(挨拶の後に)

つなげる言葉があると、コミュニケーションがとりやすくなります。

「おはようございます。急に寒くなってきましたね」この一言で大丈夫です。相手もまたそれに対して一言、言葉を返してくれます。もし何もつなぎ言葉が思い浮かばない時には「**〇〇さん、おはようございます。**」と名前を呼んで挨拶をするだけでも、相手に安心感を

与えることが出来ます。

そして「**表情**」。厳しい表情より、笑顔の方が安心感も与えることが出来て親しみやすいですね。同時に警戒心・不快感を解き放ちます。元気がやる気も起こします。自分自身のためにも「**笑顔のあるところには笑顔が生まれる**」幸せになれるような気がしませんか？

最後に「**身だしなみ**」です。

「おしやれ」と「身だしなみ」の違いは分かりますか？「おしやれ」とは、自分の好みに合わせて身を着飾ること。「身だしなみ」とは、相手に不快な思いをさせないように身なりを整えることです。

★身だしなみのポイントとは、

主に、首元、目元、足元に気を付けて

「**清潔**」

「**機能性**」

「**控えめに**」

「**上品に**」

もう一度、自分自身を振り返ってみてみませんか。基本マナーを習得して、気持ちよく過ごすために…。

私自身もコミュニケーションを大切にしていきたいと思えます。



「小学校」夏休みに、S・Hさん(三年生)が、「角野栄子」魔女の宅急便」展記念 魔女とおぼけのおはなしコンテスト」に応募して、「角野栄子賞」に選ばれました。全国から、魔女のおはなし百七十五編、おぼけのおはなし百六編、計二百八十一編の作品が寄せられたそうです。受賞作品の冒頭部分を紹介しま

す。
「朝です。7時です。」
目ざまし時けいが女の子をおこした。

「おっと、行かなきゃ。」
女の子が会場に着くまで、かの女の自こしようかいはするでしょう。かの女は童夕子。まほう村にすんでいる、まほう6年生だ。

さて、なぜ、かの女が、急いでいるかという、まず、きよりの話をしなくてはならない。いつも、まほう村から、まほう学校に行くきよりは、まほう村からまほう町に行くきよりと同じだ。つまり、時間では、20分、きよりでは、10 Kmになる。ところが、まほう村からまほう市のきよりだと、先ほどのきよりの3倍となり、いどう時間が…:

というリズムカルな書き出しで始まります。主人公夕子は『まほうのうりよくけんてい』通称『まけん』を受けてみごと合格します。どうして夕子は合格できたのか、どんな試験だったのか。『まけん』のモチーフは、夏休みの漢字検定がヒントになったそうです。作品は、県立神奈川近代文学館「角野栄子展」会場で展示紹介されました。

十月二十四日(火)に体育科学習発表会がありました。青空の下で伸び伸びと応援合戦や演技ができました。

小一 H・R
よさこいがたのしかった。すずわりができてよかった。おこだまができた。つなひきができた。すずのなから、ハートがでてきた。たまいれがやりたかった。

小二 H・K
今日は、学しゅうはつびよう会でした。ぱぼとままとひろこさんが見に来てくれました。つなひきが楽しかったです。ときよう走がくやしかったです。つぎはまけないようにれんしゅうしたいです。

小三 K・R
今日は、体育のじゅ業とちよつとちがう、体育発表会がありました。運動会とにいていしましたが、プログラムが十一番までしかありませんでした。玉入れがなかったので、がっかりしました。他には、みんなでおどろうと、ホースリレーとかがありませんでした。でも、初めて勝ったのでうれしかったです。またやりたいです。

小四 S・K
学習発表会では、ときよう走とつな引きをやりました。ときよう走では、四年生は全いんで走りました。楽しかったです。

小五 A・N
つな引きでは、手がいたくなりました。白組の小学生は、まけました。中学生は、かちました。一対一だったので、選ばつまでいきました。けつかは、まけました。ざんねんでした。

小六 K・R
今回は雨で運動会は中止になってしまいました。赤組も白組も一生懸命練習をしていたので、学習発表会をすることになったのですが、やらない競技もありました。そして応援団の人たちは朝も昼も放課後もがんばって練習していました。とても上手でした。今日は雨が降らなくて良かったです。学習発表会、楽しかったです。

今日は、一〜四時間目に体育の学習発表会がありました。今回は、運動会でやる予定だった競技の一部をやりました。今年は、六年生最後の運動会だったので、中止になってしまつて残念ですが、一部を発表できたので、うれしかったです。踊りも楽しかったです。来年は、中学校で応援団をがんばりたいと思います。



「中学校」体育科学習発表会では、日頃の成果を発揮することができました。

体育科発表会

二年 O・S

きつかった運動会

一年 A・S

ぼくは、走るのが好きだが、運動会はそんなにたのしみではなかった。だけど、やってみるとたのしいし、やりがいがあるし：というところもあるから、そんなに運動会をきらいじゃなくなった。

ぼくの係は「道具」だった。一番大変だったのは鈴割りだ。ボールがあちこちに飛んでゆくの、ひろうのが大変だった。来年は先輩になる。いい先輩になりたい。

やっと終わった発表会

一年 M・A

十月がもう終わる少し寒い頃に体育の学習発表会がありました。

学習会という形で催された運動会でした。

しかし、あくまでも学習発表会なので、勝敗はあっても優勝や準優勝というものはありませんでした。

けれども私は満足していませんし、もちろん不満なんてもありませんでした。

ただ、あの時こうしていれば良かったという後悔はありません。だからと言ってグダグダしているのも無意味な事なので、今年の後悔は来年の運動会に生かすと決めました。

体育科発表会

二年 O・S

今年は、運動会が中止だったので、体育科学習発表会になった。僕の係は、「得点」でメンバーを競技種目によってかえるのがたいへんだった。僕は、左手を骨折して、出られる競技はほとんど走る競技しかなかった。走る競技は徒競走や紅白対抗リレーなどだった。その前の練習では、応援合戦は少しきつかった。みんなでおどろろろがなくて残念だった。

「大役」

三年 I・R

今年はいつもと景色の違う運動会でした。一つは白組団長になったことです。団長は一年に二人しかありません。そして、みんなをまとめるトップにいかなくてはいけません。なので、「団長頑張るぞ!!」という気持ちとプレッシャーがいつも入り混じっていました。そんな中、中三の人やいろいろな学年の人が協力してくれたので、なんとかやっていくことができて、みんなにはとても感謝しています。

いつもと景色の違うことはもう一つあります。それは運動会が流れ、学習発表会になってしまったことです。最後の運動会、やりたかったですが、「仕方ない」と割り切って、学習発表会を楽しくやることができました。

僕は「何かをまとめる」ということはあま

り得意ではありません。でも、一人で全部まとめるのではなく、協力してまとめることの大切さを改めて思いました。

一騎打ち

三年 M・T

今回は雨が続いたため、運動会ではなく、学習発表会という名目でやることとなりました。今回の学習発表会（運動会）は私達中三にとって中学校生活最後となるものでもあります。そして、今年の中三が中心となり、後輩達を仕切らなくてはなりません。また、今までの先輩方に教えられた事を次は私達が後輩に教えずにはいけないと思いました。

そして、始まった学習発表会は、元の予定より競技の数は少ないですが、十分熱くなれる競技がたくさんありました。特に熱くなれたのは応援合戦と紅白対抗リレーです。応援合戦で赤組はオリジナルの三三七拍子をしました。その結果三対〇で赤組が勝ちました。とてもこみあげるものがあり、感動しました。そして、紅白対抗リレーでは、自分は黄色チームのアンカーなので、とても緊張しましたが、みんなのがんばっている姿を見ると緊張もやわらぎ白との一騎打ちで、赤組が勝つことができました。

中三最後の運動会とても楽しかったです。



今年もクリスマスが近づいて来ました。今月号と来月号では、聖書科の咲間直人先生のインタビューをお届けします。

—子どもの頃からクリスマスチャンなのですか。

「幼児洗礼を受けて、小学生の時には堅信の儀式も受けました。クリスマスチャンの母の影響です。でも高校生くらいの時に、なんとなくモヤモヤと疑問がわいてきて、一度教会から離れたんです。」

—どんな疑問を。

「小さい頃から当たり前のようにクリスマスチャンとして生きてきて、このままでいいのだろうか、自分にとって信仰って何だろうと思っただけです。その疑問をはっきりさせるために大学の神学部に進みました。カトリックの大学でしたが、プロテスタントの方や仏教の方、外国の方などいろいろな人が学んでいました。」

—卒業間際に、やっと一つの答えにたどり着きます。

「信仰とは生き方そのものだという事です。長い人生すべてが信仰生活なのです。悩んでいる時も教会から離れた時も、神様はすべてを知っていて良しとして下さいます。」

—大学卒業後すぐにステパノに。

「大学では中学校の社会科と宗教の教員免許を取りましたが、教員だった母の様子をずっと見ていて、とても自分には無理だと思いました。卒業後は、一般企業に就職して二年くらい働きました。」

「学生の頃ステパノにくる機会があって、その時『ここで働きたいな』という思いが生まれたのです。子どもたちもない時間だったし、森の中の教室もまだなくて、どうしてだかわかりません。教師にだけはなれないと思っていただけに、働きながらステパノのことを時々思い出のです。その後、通信制大学で小学校の教員免許を取得する際に教育実習をお願いしたのをきっかけに、ステパノで働くことになりました。今年で奉職十年目です。」

—不思議ですね。

「学んだことをすべて生かせる場所を与えられたと思っています。ステパノ以外で教師をするつもりはありません。」

—大切にされている聖句を教えてください。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる(マタイによる福音書第七章七節)です。この聖句があったから、しっかり学ぼうと大学に行きました。自分の行動理念です。」

*来月号もお楽しみに！

STEPHEN'S NEWS

【角野栄子賞受賞者】 6ページに受賞作品

【日本漢字能力検定合格者】

準2級 中3 A・S

3級 中3 N・Y

4級 中2 U・S

小6 K・S 小3 T・R

5級 中1 S・N S・A

小5 K・S

6級 中1 I・Y N・S

小6 O・R G・S 小4 K・F

7級 小5 A・N A・T

8級 中1 I・N

9級 小5 F・Y M・E K・R

小6 I・K

10級 小3 O・T H・R Y・D

小2 I・H

小4 S・K

小3 S・H T・Y M・A

小2 T・H 小1 I・N S・P

編 集 者 佐 伯 記 秋も深まってきました。二週連続の台風で

どんぐりも沢山落ちています。遠足と修学旅行が、お天気に恵まれますように。(め)

代表者 学園長 小川 正夫

発行者 ステパノ学園小学校・中学校

ステパノだより編集委員会

〒三五五〇〇三 神奈川県中郡大磯町大磯八六八

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>

二〇一七年十一月七日(火) 発行 第215号